

ブルーイノベーション株式会社

支援内容①

自衛隊と連携した土砂崩れによる孤立地域の情報収集

2024年1月6日 輪島市光浦町

光浦町の海岸沿いの道路では、土砂崩れにより道路が大きく崩れ落ち、集落が孤立した状況であったため、道路が寸断された先に孤立者がいないかをドローンで撮影し、自衛隊にリアルタイムに映像を確認いただき、捜索活動を行った。孤立者の存在が確認できた場合は、自衛隊による徒歩での救援活動が行われるが、その際にどのような物資が必要なのかを映像から判断して、持参する物資を決める際に、ドローンの映像が役立つことがわかった。



土砂崩れによる孤立地域をドローンで上空から撮影

支援内容②

仮設住宅設置予定地域の被災状況の確認

2024年1月7日 輪島市門前町 2ヶ所

輪島市では、災害時に備え、仮設住宅設置可能な地域を確保している。輪島市が事前に把握している仮設住宅設置エリア周辺を上空から撮影し、道路が寸断されていないか、倒壊家屋で土地が使用出来ない状況にないか、土地そのものが使用できるかをドローンで撮影して輪島市に共有を行った。



仮設住宅設置予定地域をドローンで上空から撮影

企業における災害への取り組み

この度の能登半島地震では、1月6日より初期災害時支援として、自衛隊と連携した孤立地域の情報収集・被災状況の確認を実施しました。

更に、1月30日より、JUIDAの指揮の元、ドローンポートを活用した災害支援活動、ドローンを活用した災害支援活動(橋梁点検)を実施しています。今後もブルーイノベーションでは現地の要望に合わせ、被災地での支援活動に尽力してまいります。

ブルーイノベーションではこれまで、災害時におけるドローンを活用した様々な支援や取り組みを行っています。

■仙台市 津波避難広報ドローン事業(2022年10月より運用開始)

Jアラートと連動しドローンが自動離着陸・飛行。避難広報と状況撮影を全自動化
<https://www.blue-i.co.jp/news/release/20221124.html>



仙台市 津波避難広報ドローンシステム

■都市部におけるドローン等を活用した支援物資輸送(2022年3月)

災害用ドローンポートシステムを活用した産官学連携による支援物資輸送の実証実験に成功
<https://www.blue-i.co.jp/news/release/20220321.html>



熱海市伊豆山土石流 災害支援

■熱海市伊豆山土石流 災害支援(2021年7月)

陸上自衛隊東部方面隊からの要請に基づき、JUIDAの統括の元、熱海市伊豆山で発生した土石流災害での支援を実施

■大分県 災害用可搬式ドローンポートシステム(2021年3月)

位置情報や状況の共有、救援物資のドローン搬送を一元管理し迅速対応を支援
<https://www.blue-i.co.jp/cases/oita/>



災害用可搬式ドローンポートシステム